（第１回）

第　　学年給食時間（５分間）の指導案

令和　年　　月　　日（　）

年　　組　　名

１　題材名：「献立について知ろう」

２　題材について

　　児童の給食時間の様子から、苦手な料理や食品は残す傾向にあり、食べる児童と食の細い児童で差が見られる。そこで、献立のねらいや意図を伝えることで、自分の成長や健康を意識して食べようとする児童を育てたい。

３　指導のねらい

　　献立のねらいを知り、成長や健康を意識して食べることができる。

４、食に関する指導の観点

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 食事の重要性 | 心身の健康 | 食品選択能力 | 感謝の心 | 社会性 | 食文化 |
| 　　〇 | 　　〇 | 　　　〇 |  |  |  |

５、本時の展開（指導は５分以内）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動及び学習内容 | 予想される子どもの反応 | 資料・教材・留意点 |
| 1. 給食の違いに気づく。

２、献立のねらいを知る。・成長期に必要な栄養を取り入れる・地場産物や郷土料理を伝える・旬の食材を心掛ける。３、カルシウムについてクイズをする。４、給食の献立は、健康を考えて作られていることを知り、これからの給食のとり方について考える。 | ・野菜がない・栄養のバランスが良い・牛乳が毎日ついている・苦手なものもなるべく食べるようにする。 | ・パソコン・パワーポイント・電子黒板・３択のクイズ形式にして、挙手で回答させる。・牛乳が飲めない児童への配慮（他の食材で補うなど） |

６、評価

・献立のねらいを知り、成長や健康を意識して食べようと意欲を持てたか。

　　　　　（タブレットを活用して振り返りのワークシートに記入させる）

７、指導後のつながり

・担任と連携して、日々の献立のねらいや意図を意識しながら、自分の体の成長のために食べるよう促す。

・食育チャレンジシートの活用

８、関連教科：家庭科

（第2回）

第　　学年給食時間（５分間）の指導案

令和　年　　月　　日（　）

年　　組　　名

１　題材名：「給食における県産食材を地産地消について」

２　題材について

　　県産品奨励月間に合わせて、なぜ県産品が良いのかについて考えさせるために、まずは、地産地消についての理解を得る。地産地消をすることで、地域の活性化や新鮮なものが食べられることや流通の視点から環境にも良いことについて気づかせたい。

３　指導のねらい

　　給食における県産食材や地産地消について理解できる。

４、食に関する指導の観点

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 食事の重要性 | 心身の健康 | 食品選択能力 | 感謝の心 | 社会性 | 食文化 |
|  |  |  |  | 〇 | 〇 |

５、本時の展開（指導は５分以内）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　　　　学習内容 | 予想される子どもの反応 | 資料・教材・留意点 |
| 1、給食の県産食材利用率について　（クイズ）約35％2、地産地消とは地域の食材を生産・消費地域の活性につながることを伝える。3、給食の県産品クイズ | ・意外と少ない。・地産地消とは、いい事！・今日の給食の県産品はゴーヤー！ | ・パソコン・パワーポイント・電子黒板・３択のクイズ形式にして、挙手で回答させる。 |

６、評価

　・給食における県産食材や地産地消について理解できたか。

（タブレットを活用して振り返りのワークシートに記入させる）

７、指導後のつながり

・県産品奨励月間と合わせていることから、家庭での意識づけや次の指導つなげる。

　・食育チャレンジシートの活用

８、関連教科：道徳科

（第3回）

第　学年給食時間（５分間）の指導案

令和　年　　月　　日（　）

年　　組　　名

１　題材名：「カーブチーが給食に届くまで」

２　題材について

　　道徳の時間の、「物を大切にし、節度・節制に心がける態度を養う」単元において、「いただきます」や「ごちそうさま」の意味を学び、日常生活を振り返り、課題を身近なものとできるようにするとしている。そこで、課題をより身近に捉えさせるために、給食の献立と関連について、給食の献立に県産食材の「カーブチー」を取り入れて、児童がより食材について、身近に感じ、生産者や届くまでの過程を知らせ、食品ロスの視点から感謝の心を育みたい。

３　指導のねらい

　　給食食材の生産に関わる様子から食品ロスについての理解を深める。

４、食に関する指導の観点

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 食事の重要性 | 心身の健康 | 食品選択能力 | 感謝の心 | 社会性 | 食文化 |
|  |  |  | 〇 | 〇 | 〇 |

５、本時の展開（指導は５分以内）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　　　学習活動及び学習内容 | 予想される子どもの反応 | 資料・教材・留意点 |
| 1、給食食材の生産に関わる様子を動画で伝え、食品ロスについて考える。2、実際にカーブチーを食べる活動を通して気づいたこと3、方言クイズ（３択）　　「カー（皮）、ブチー（厚い）」４、 | ・一人当たり、１日におにぎり１個分とは知らなかった・カーブチーは、酸っぱい・カーは、皮？、ブチーは？・・・ | ・パソコン・パワーポイント・電子黒板・３択のクイズ形式にして、挙手で回答させる。 |

６、評価

・給食食材の生産に関わる様子や食べる活動を通して、食品ロスについて理解が深まっ

たか。（タブレットを活用して振り返りのワークシートに記入させる）

７、指導後のつながり

・担任と連携して、生産者と関わる様子の動画や給食を食べる活動を通してもったいないという意識から、食べ残しを減らしていこうとする意欲につなげる。

・食育チャレンジシートの活用

８、関連教科：道徳の時間「食べ残されたえびの目に涙」

（第４回）

第　学年給食時間（５分間）の指導案

令和　年　　月　　日（　）

年　　組　　名

１　題材名：「１食分の献立の理解を深めよう」

２　題材について

　　家庭科の時間において、１食分の献立の立て方を学習し、栄養バランスを考えた献立を作成してきた。今回、「まごわやさしい」の語呂合わせと給食を関連させて、栄養バランスを工夫するために、理解を深める。

３　指導のねらい

　　「まごわやさしい」の食材を給食で確認し、実生活へ意識することができる。

４、食に関する指導の観点

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 食事の重要性 | 心身の健康 | 食品選択能力 | 感謝の心 | 社会性 | 食文化 |
| 〇 | 〇 | 〇 |  |  |  |

５、本時の展開（指導は５分以内）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　　　　　学習活動及び学習内容 | 指導の留意点 | 資料・教材・留意点 |
| １、今日のねらいを確認する２、まごわやさしいについて３、今日の献立に使われている「まごわやさしい」の食材をクイズ形式で確認する４、使われていない食材をどのように組み合わせたら良いか考える　５、まとめの話を聞く。 | ・まごわやさしいについて説明する・クイズを通して、今日の食材を確認する。・工夫するポイントを気づかせる。　る・お家でも食材を確認するよう促す | ・パソコン・パワーポイント・電子黒板 |

６、評価

　　・「まごわやさしい」の食材を給食で確認し、実生活へ意識することができたか。

７、指導後のつながり

　　・食育チャレンジシートの活用や調理実践につなげる。

８、関連教科：家庭科